

日本薬局方 沈降炭酸カルシウム

沈降炭酸カルシウム 恵美須

PRECIPITATED CALCIUM CARBONATE

日本標準商品分類番号	872344
承認番号	(61AM)-2435（薬価基準収載）
薬価基準収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1980年3月
薬効分類名	制酸剤

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能抗進症の患者
 [症状が悪化する恐れがある。]

【組成・性状】

本品を乾燥したものは定量するとき、炭酸カルシウム（CaCO₃）98.5%以上を含む。

本品は白色の微細な結晶性の粉末で、におい及び味はない。水にはほとんど溶けないが、二酸化炭素が存在すると溶解性を増す。エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。希酢酸、希塩酸、又は希硝酸に泡立って溶ける。

【効能又は効果】

- ・ 下記疾患における制酸作用と症状の改善
 胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）

【用法及び用量】

通常成人1日1～3gを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

- 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）
 - (1)腎障害のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
 - (2)心機能障害、肺機能障害のある患者
 [症状が悪化するおそれがある。]
 - (3)便秘のある患者 [症状が悪化するおそれがある。]
 - (4)高カルシウム血症の患者[副作用があらわれやすくなる。]

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

本剤は吸着作用、制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質（ミノサイクリン、テトラサイクリン等）	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるため、同時に服用させないなど注意すること。	カルシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。
ニューキノロン系抗菌剤（シプロフロキサシン、トスフロキサシン等）		
高カルシウム血症改善イオン交換樹脂製剤（ポリスチレンスルホン酸カルシウム、ポリスチレンスルホン酸ナトリウム）	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがある。また、併用によりアルカローシスがあらわれたとの報告がある。	カルシウムがこれらの薬剤の陽イオンと交換するためと考えられる。

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
活性型ビタミンD ₃ 製剤（アルファカルシドール、カルシトリオール）	高カルシウム血症があらわれやすくなる。	活性型ビタミンD ₃ 製剤はカルシウムの吸収を促進する
大量の牛乳	milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類 \ 頻度	頻度不明
代謝異常 ^(*)	高カルシウム血症、アルカローシス等の電解質失調
長期大量投与	腎結石、尿路結石
消化器	悪心、便秘、下痢、胃酸の反動性分泌等
過敏症	そう痒感

注) 観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

【薬効薬理】

- ・ 本剤は不溶性カルシウム剤の1種で制酸作用を呈し、また吸着作用も現すので胃潰瘍及び胃酸過多症に制酸薬として用いる。
- ・ 本剤1gは0.1mol/L塩酸約200mLを中和する効力がある。

【取扱い上の注意】

貯法：気密容器に保管

【包装】

500g（ポリエチレン袋入り、外装紙箱）

【主要文献及び文献請求先】

第15改正日本薬局方解説書

恵美須薬品化工株式会社 西成工場

大阪市西成区出城2-2-20 TEL(06)6561-5016

【製造販売元】

恵美須薬品化工株式会社

本社 大阪市中央区内平野町3-3-2

工場 大阪市西成区出城2-2-20